

株式会社ユニゾーン
代表取締役会長
梅田 ひろ美
Umeda Hiromi



“夢をかたちに”できるよ!!

TOP
Message

「品質第一、生まれる信頼。」これは、私が社長に就任したときから我が社のスローガンとしたもの。以来、私はこのスローガンをずっと言い続けているが、「継続は力」といいたくても、なかなかこれを突き詰めることは容易ではない。

私は朝ドラ「舞いあがれ!」を欠かさず見ている。このドラマでは、いつの日か飛行機に使用される質の高い螺子(ネジ)を作ろうと、大きな夢に向かって信念を持ち、あきらめることなく小さな町工場を懸命に切り盛りする父、そして母の姿が描かれている。私にとってその二人の姿は、私の両親の姿と重なり、つい胸が熱くなってしまう。

そんな私が10年前に、「これからは航空機産業も柱の一つと、技術的なことは何もわかっていないのに社員の皆さんに」「(航空機産業への参入に向けて)営業に行こう、話を聞きに行こう」と口にし始めた。

当時、Zadoco・ナドキャップ(航空宇宙産業関連の特殊工程管理に関する世界標準認証プログラム)が何なのかも全くわかっていなかったが、その後この認証取得を目指して指導を受けることになり、指導いただいた先生はじめ、技術スタッフ、そしてOBの方々まで、多くの方々がユニゾーンファミリーのWA(輪)となり、つながり合ってくれた。おかげさまで先日、我が社は、Zadocoの認証を取得することができた。

▶Profile

1988年 富山メッキ(現株式会社ユニゾーン)入社
1999年 代表取締役社長
2013年 代表取締役会長(現在に至る)

〔公職〕

2013年 富山商工会議所 常議員
2018年 富山県機電工業会 副会長
2021年 全国鍍金工業組合連合会 評議員
富山県水墨美術館友の会 会長
富山県民会館文化友の会 会長
富山県赤十字有功会 会長

〔表彰・叙勲〕

2007年 女性経営者賞(日刊工業新聞社)
2014年 厚生労働大臣表彰 労働委員会委員
2022年 旭日双光章 受章 ほか

株式会社ユニゾーン

事業内容 電気めっき、無電解めっき、化成処理、陽極酸化処理、シオメット処理、研磨(バフ研磨、電解研磨)、金属加工

およそ10年前に夢見たものが時を経て結実した。口に出してみるものである。と同時に、ユニゾーンファミリーとつながり合ってくれた皆さまが、我が社の「信頼」という基盤の一端を築いていただいたことに気がつき、頭が下がる想いで胸がいっぱいである。Zadoco審査通証の女性から年賀状をいただき、そこには貴重な経験をさせて頂いたとあったが、私のほうこそ、感謝の念があふれている。

私の趣味の一つに、絵画・美術鑑賞があるがその見る眼だけでも養い、作家さんの想い、そしてそのなかにあるドラマを感じ取るという次なる夢に向かって、今年も一年、がんばろうと思えた年初であった。

皆様にとっても夢の実現に向けて、一歩、さらに一歩と飛躍できる一年となることを祈念して、筆をおく。

編集長



コーセル株式会社
清澤 聡
Kiyosawa Satoshi

つなげていこう! 品質のWA(和・輪)

会報「join♡T」は、様々な企業・組織や人同士をつなげることで、新たな気づきや発見、好奇心・探求心をくすぐる「タネ」をお届けしていきたいと思っています。また「読者参加型」会報として皆さまとのつながりも大切にしながら、編集委員の総力を結集し、取り組んでまいります。どうか末長く愛読いただけますよう、お願い申し上げます。

次回以降の企画・テーマ募集 /

●『つながり』をテーマに、こんな企画をしてほしい、こんなテーマはどう? というものがあれば、是非ご連絡ください。

連絡先: 富山県経営者協会 品質管理委員会
(担当:北野、安田)
info@toyama-keikyo.jp

広げよう Quality Firstの輪
深めよう QC的ものの見方・考え方

企業と人

02

自己紹介をお願いします!

出身は石川県ですが、車で10分も走れば富山県に入るような県境近くに実家があります。富山県の大学に進学し、化学を専攻していました。富山県の企業を知る機会が増え、縁あって三光合成に入社し、情報通信機器分野の品質保証を担当して3年目になります。

品質保証室の役割と担当業務について

各部門の品質保証室では、新規製品の量産移行に向けた不良を出さない工程・システムづくりや、量産製品の品質維持・管理などを行います。

現在、私は情報通信機器部門で、主に工程内不良の流出防止、購入製品の品質確認、クレーム対応を担当しており、量産開始後に発生した問題点についての改善や確認も行っています。また、新規製品の立ち上げ時の会議に参加することもあり、量産に向けた工程設計や既存製品で出た不具合の改善の盛り込み、使用する部品の品質確認も行います。OJT中心で成形や組立に関する事を学びながら、知識を増やしています。

現場とのコミュニケーションによる品質保証

私が仕事をする上で心掛けている事は、現場を見て、現場の声を聴く事です。トラブル発生時に問題を解決していくことはもちろん、普段から現場の方とコミュニケーションをとる事が些細な変化の気付きに繋がると思っています。お互いに声を掛けやすい関係となれば、小さな気付きや異常が事前に届き、そこで対処をする事で不具合の流出防止にも繋がります。新規製品の立ち上げ時にも、コミュニケーションをとりながら問題・課題をつぶす事で、量産後の品質安定に向けて活動しています。

最近は、現場やお客様からの要望があると、自分自身の考えを持って上司に報告するようにしています。自分の考えや意見を持つことが必要だという気付きと、「仕事が出来る様になりたい」「頼りにされたい」と思う気持ちの変化がありました。

QCサークル活動について

毎年3月・9月に行われる社内のQC発表会に向け、各サークルが活動しています。現在、富山工場では27のQCサークルがあり、それぞれが現場での困りごとや、製品品質の改善に向けて取り組んでいます。サークルによっては、他部署も含めたメンバーで構成されているケースもあります。

私は女性がメインの「なでしこサークル」に所属しており、現場の方と一緒に活動する事で、率直な意見が聞ける良い機会になっています。また、様々な意見は自身の考えや視野を広げる勉強にもなり、とても楽しいです。活動は大変ですが、現場の方に頼られた時は嬉しく、頑張ろうという気持ちになって、やりがいがあります。

私の趣味

趣味は、好きなアーティストの曲を聴くことやYouTubeを見ることです!コロナ禍で機会は減ってしまいましたが、県外へライブに行くこともあります。

編集後記

記念すべき創刊号からはや1年、ここに第2号をお届けすることができました。発刊にあたり、お忙しいなか寄稿いただきました株式会社ユニゾーン 梅田会長様、取材対応いただきました三光合成株式会社 藤田様ほか、関係各位のご協力あつてのものと深く感謝申し上げます。皆様にとってまだまだ“身近な存在”にはなれていないと思いますが、「業種を越えた品質の輪」を合言葉に、「企業と企業、人と人」とをつなぐお手伝いができるよう努めてまいります。(K)



三光合成株式会社
情報通信ビジネスユニット
品質保証室
藤田 紗矢香
Fujita Sayaka



三光合成株式会社
SANKO GOSEI LTD.

1940年にプラスチック工業部品メーカーとして創業、以来80余年にわたり、たゆみない努力を重ね、プラスチック製精密工業部品製造のリーディングカンパニーとなる。

事業内容 1. 合成樹脂成形品の製造並びに販売
2. 機械、電子部品の製造並びに組立加工
3. 合成樹脂成形用金型の設計、製造並びに販売
4. 工業製品用のデザイン、設計、試作並びに販売
5. 工業用ロボット、各種機械器具の自動制御装置の設計、製造並びに販売
6. 前各号に附帯関連する一切の事業

上司からの一言

大学での専攻が、仕事や配属先とは完全に一致しなかったかも知れませんが、中でも自身の積極性で、自分の能力を発揮できる部分を探し出し、仕事に取り組んでいると思います。

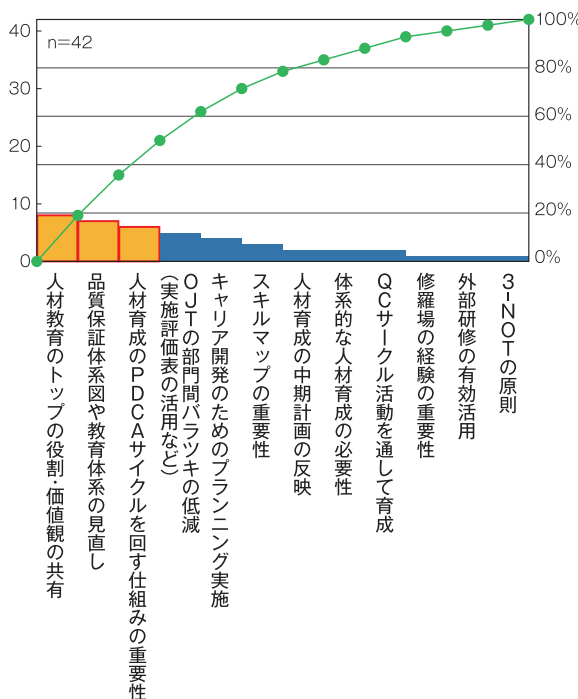
新しい事を知ろうとする意欲や知った事を理解する能力も高いと感じており、期待しています。(K)

12月9日(金) 講演会とGD^{※1}を行いました！

※1 G(ジイ)roupD(ディ)iscussion:事例をネタに、品質管理／保証活動での各社の悩み、課題認識などを意見交換。業種が異なる中で新たな「気づき」につながっています！



講演会はリモートで開催。全員が画面に集中し、聞き入っています。アジェンダのとおり、教育のすべてが盛り込まれ、密度の濃い充実した時間となりました。



講演会：「品質教育を核にした人材育成のすすめ」～組織の持続的発展を目指して～

《講演会開催の経緯》

委員会活動に関するアンケート結果から、幹事の意見を取りまとめたところ、「人材育成・教育」、「技術・技能の伝承／継承」、「不具合・不適合の是正・未然防止」の3つのテーマがあがったことを受け、今回「人材育成・教育」をテーマとした講演会を企画することにしたもの。



〈講師〉村川賢司（むらかわけんじ）氏
村川技術士事務所 所長

《アジェンダ》

- ・序 ……組織における人材とTQM／品質管理教育
- ・1章 ……人材育成におけるトップ・経営層の役割
- ・2章 ……人を育てるための3つの仕組み
- ・3章 ……中長期的視点に立脚した人材育成計画
- ・4章 ……多様な研修プログラムの工夫
- ・5章 ……人材育成の評価と改善
- ・結 ……組織を持続的発展に導く基盤

講演会を経てGDへ

「自社の困りごとや問題点・課題認識」について、4班に分かれて活発な議論が行われました。参考になる意見、共感できる意見などがあがりました。

また、講演内容について、アンケートを記入いただき、その結果を左図のバレー図にまとめました。

- ★1：人材教育のトップの役割・価値観の共有
- ★2：品質保証体系図や教育体系の見直し
- ★3：人材育成のPDCAサイクルを回す仕組みの重要性

この3つの意見で、半数を占めました。皆さん、感じることは同じようです…。なお、後日、対策についてのGDを開催しました(2/21)。

編集委員から一言(F)

内容が幅広く、理解が難しかったところもありましたが、とても勉強になった講演会でした。

またGDでは、様々な立場からいろいろな視点での意見を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

7月25日(月) 県内企業見学会に行ってきました！

めっちゃ暑かったー！

訪問先：アイシン軽金属株式会社

▶アイシン軽金属さんの主力製品

ダイカスト製品：車のエンジンユニット、トランスミッションの部品等（工程は国内最大）
押出製品：車のバンパー、ルーフレール、バッテリーフレーム等

品質管理活動におけるトピックス

① 方針管理／日常管理活動

- ・職場でグラフ化、日々、改善活動のフォローを行い、マネジメントに活用⇒「KPIボード（「4S+鏝」診断シートと要件票）」を掲示、誰が見ても進捗状況がわかる！
- ・人材育成の一環として、QCサークル活動を推進

② 全社一丸での『異常処置』、『標準遵守』にこだわった品質向上活動

《活動のポイント》

- ★即断即決メンバーによる発生源対策の推進
- ★製品の持ち方、見方にまでこだわった標準遵守活動
- 「標準作業の徹底」…作業標準と現場作業の乖離をチェック

“朝・昼ホットタイム後に時間を設けて監督者が作業観察実施”

③ 5S（4S+鏝）を基本とした職場運営

4Sの定着をねらいとして敢えて「4S+鏝」と表現している

《5S活動のねらい》

- ・安全・品質・生産の基本を再整備
- ・やりにくい作業・ムダ等、あらゆるロスの抽出と排除
- ・きれいな環境で、気持ちよく働ける職場づくり
- ・製品、自分が使用している設備・道具をもっと大切にする人づくり

“熱意”と“こだわり”を持って職場支援を継続



アイシン軽金属さんのプレゼン、しっかり聞いて！！

④ TPM^{※2}活動(小集団設備改善活動)

※2 TPM=Total Productive Maintenanceの略

★職場3本柱活動…世界で戦える現場と人を育成

- ① 人：標準作業の徹底と改訂
- ② 製品：加工点マネジメント
- ③ 設備：自主保全

活動を通してレベルを上げることで、質の高い業務を“安全でスピード感を持って行う”ことにつながっている。⇒最終目的：お客様満足！

編集委員から一言(W)

工場内は5S（4S+鏝）が行き届いており、とても綺麗でした。いろいろな活動を通して、従業員のモチベーションアップにつながっており、従業員の成長とともに、会社が成長していくという関係ができている素晴らしい会社でした。

コロナ禍の中、見学を受け入れていただき、ありがとうございました。

9月14日(水) 品質管理／保証に関する事例発表とGD^{※1}を行いました！

事例発表（3社）

朝日印刷株式会社

【事業内容】印刷・包装資材の企画、製造、販売

■QAIRS:(Quality Assurance Inspection Report System)導入

《電子化検査システム:QAIRS導入目的》

- ・客先要求事項への対応(要求事項の高度化・多様化)
- ・電子化による工数削減・ペーパーレス化
- ・検査員ごとのバラツキをなくす

■製品の汚染や品質低下を防ぐ

- ・製品への異物付着のリスク低減
- 衛生管理表の運用による1日5回の毛髪付着、出血有無確認
- ・防虫管理活動の実施
- 防虫委員会による計画的な防虫管理活動の実施(倉庫内)

《参加者コメント》

Aさん

日常の業務では他社（異業種）の方と品質管理について意見交換を行うことがあまりなく、今回、皆さまの取り組み状況や考え方を聞くなかで学び・気づきが多くあり、非常に有意義な時間となりました。



協和ファーマケミカル株式会社

【事業内容】医薬品原料(原薬)の製造

■人為的なミスを減らすための工夫

- ・ラボエラー解析:ヒューマンエラーを分析、人により個別対応
- ・不具合発生:症状毎にランク分けを行い、原因の掘り下げ実施
- ・対策の半年後に有効性確認、水平展開の実施状況確認
- ・プロセスのモニタリングは、試験データをプロットして管理図を用いて変化確認し、予防措置としている

■品質重視の企業風土の醸成について

- ・サンクスカード(グリーティングカード)のメール配信
- 感謝の言葉を伝えることを習慣づけ。2～3年前より活動
- …業務で褒める事の少ない会社が多いなかで、気軽に褒め合うことが出来る企業風土へ…「今月のありがとう」活動も
- ・褒められたり、感謝されることで「とても温かい気持ち」に！

Bさん

今回は特別参加という形でしたが、今後、機会がありましたら是非参加し、さらなる自社の品質向上に努めていきたいと思います。新たな「気づき」につながっています！



ジャパンメディック株式会社

【事業内容】医薬品、医薬部外品の製造販売

■是正処置、予防処置を重視した取り組み

- ・「工場で品質不良品をつくらない」を実現するための活動
- ・不具合発生:症状毎にランク分けを行い、原因の掘り下げ実施
- ・対策の半年後に有効性確認、水平展開の実施状況確認
- ・プロセスのモニタリングは、試験データをプロットして管理図を用いて変化確認し、予防措置としている

■報告しやすい環境づくり

- ・問題が起きた際、「誰が」を追求せず、「こうしているはず」等の言葉を言わず、報告者を責めない
- ・あくまで人ではなく、段取り、作業方法等に原因がある

《参加者コメント》

Cさん

皆様の品質管理／品質保証に関する取り組み、ヒューマンエラーに関する取り組みについて、社内だけでは得られない視点もあり、とても勉強になりました。



編集委員から一言(O)

GDでは品質管理に関する意見交流を行い、同じような悩みや課題があれば、他社の取り組み状況・考え方を知り、課題解決のヒントや気づきを得られたのではないのでしょうか。

今後の品質管理活動に反映していただければ幸いです。